

第 25 回 学会大会報告

第25回日本レジャー・レクリエーション学会大会は、平成7年9月23日（土）、24日（日）の両日にわたり、神奈川県小田原市にある関東学院大学小田原校を会場として開催されました。第25回記念大会である今大会は「新しい時代の創造的余暇」を大会テーマとして、初日23日には浅田隆夫による「21世紀への提言：これからのレジャー・レクリエーションのあり方を探る」と題した記念講演に始まり、福永佳津子氏による基調講演「ボランティアに見る創造的余暇」、そして「新しいレジャー・レクリエーション時代の生き方」をテーマとしたシンポジウムが行われました。そして翌24日には23題の研究発表と、今大会から設けられた「実践報告」21題の発表が行われ、積極的な参加者に支えられて全てのスケジュールを終了いたしました。

大会企画であるシンポジウム、研究発表の演題および演者は以下のとおりです。

□ 大会テーマ

『新しい時代の創造的余暇』

□ 記念講演

「21世紀への提言：

これからのレジャー・レクリエーションのあり方を探る」

—若者のレジャーライフを中心に—

浅田隆夫（日本レジャー・レクリエーション学会会長）

□ 基調講演

「ボランティアに見る創造的余暇」

福永佳津子（海外生活カウンセラー）

□ シンポジウム

〈テーマ〉

「新しいレジャー・レクリエーション時代の生き方」

〈話題提供〉

原田宗彦（大阪体育大学教授）

「グローバル時代のレジャー・レクリエーション」

松田義幸（実践女子大学教授）

「生涯学習社会の到来と新しい時代の余暇のあり方」

宮下桂治（順天堂大学教授）

「阪神大震災で学んだ若者の新しいボランティア活動」

〈司会〉

芳賀健治（東京家政学院大学助教授）

<第25回学会大会報告>

研 究 発 表

= A 会 場 =

- A-1 「過去3年間のNRPAシンポジウム抄録にみられるレジャー
・レクリエーションの研究動向—1992～1994年—」
(余暇問題研究所) 栗原 邦秋
- A-2 「J社におけるリラクゼーション研修の試みとその自覚効果について」
～その研修内容と追跡調査の結果から～
(日本航空株式会社) 本田 真次
- A-3 「リハビリテーション・トレーニングにおける質的指導重視の実例研究」
～頰椎後縦字靭帯骨化症患者の場合～
(日本航空株式会社) 若林 恭子
- A-4 「小中学生の野外活動に関する課題と方向性について」
～特にプログラム展開を中心に～
(横浜市立菊名小学校) 森 孝昭
- A-5 「大学生におけるレジャー活動の満足度に関する比較研究」
～日本(東海大学) 韓国(ギョンヒ大学) アメリカ(アリゾナ州立大学)の学生を対象として～
(韓国レクリエーション協会) 周 廷鎬
- A-6 「フィットネス指導と健康に関する一考察」
～ホリスティック・アプローチから～
(スポーツ・エデュケーション・アカデミー) 藤原 武志
- A-7 「日本における国土開発に伴う風景問題について」
～1960年代～1970年代前半までの自然公園を対象として
(千葉大学大学院) 藁 重南
- A-8 「アメリカの国立公園利用におけるペットの規制について」
(千葉大学) 古谷 勝則
- A-9 「スポーツ産業・レジャー産業に従事している
体育系大学の卒業生の実態調査」
(日本体育大学) 黒田 次郎
- A-10 「公共と民間の体育・スポーツ施設における
棲み分けと競合に関する一考察」
(一宮女子短期大学) 松永 敬子
- A-11 「商業スポーツ施設における会員の満足度に関する研究」
～満足空間モデルにおける満足度の変化について～
(中京大学大学院) 原田 尚幸
- A-12 「レジャー経験における主観的要素の分析法に関する検討」
～ESMによるデータ収集と主要な構成概念に注目して～
(樟蔭女子短期大学) 佐橋 由美

= B 会 場 =

- B-1 「大学受験とそのあり方に関する研究」
～特に一次集計の結果からみた女子高生の一般的傾向～
(竹早教員養成所) 小西 啓子
- B-2 「女子高校生の大学選択理由(5因子)とその受験意識との関係」
～高群と低群の比較を中心に～
(飯田女子短期大学) 田中美智子
- B-3 「大学受験とそのあり方に関する研究・母親の大学教育観」
～女子高生の志望・母親の年齢・子どもの数との関係から～
(都立北多摩高校) 寺嶋 文代
- B-4 「家族関係からみた女子高生の大学受験意識」
(神奈川大学) 角田 亨子
- B-5 「女子高生の大学受験意識と母親の大学教育に対する期待観との関係」
～特に分系と理系の比較～
(山形女子短期大学) 深瀬 嘉子
- B-6 「国際交流で知る地域づくりの視点」
～オーストラリア・クイーズランド州ヌーサでのホームステイ・自然活動を通して～
(東洋大学短期大学) 坂口 正治
- B-7 「学外コースにおけるPhysical Recreation “ヨット” を通してのレジャー教育」
～ヨット実践プログラムからの満足度の研究～
(いわき明星大学) 上野 直紀
- B-8 「ファミリーレクリエーション活動の実態調査」
～親の運動部経験による比較から～
(あさひな幼稚園) 梅原 俊子
- B-9 「キャンプの教材化とその価値の決め手の問題を巡って(第2報)」
(けやの森学園) 佐藤 朝代
- B-10 「1950年代における野外活動の傾向に関する研究」
(東横学園女子短期大学) 中村 正男
- B-11 「救急法・蘇生法カリキュラム指導の検討」
(東京体育専門学校) 杉浦 俊之

<第25回学会大会報告>

実 践 報 告

= A 会 場 =

- A-1 「神奈川における視覚障害者のレクリエーションの展開(1)」
～神奈川の現状とサポート体制～
(光友会藤沢障害者自立生活援助センター) 古畑 英雄
- A-2 「神奈川における視覚障害者のレクリエーションの展開(2)」
～盲人卓球～
(神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢ライトホーム) 渡辺 文治
- A-3 「神奈川における視覚障害者のレクリエーションの展開(3)」
～フロアバレーボール(盲人バレーボール)～
(神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢ライトホーム) 塩沢 哲夫
- A-4 「神奈川における視覚障害者のレクリエーションの展開(4)」
～視覚障害者のスキー、ブラインドスキー～
(神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢ライトホーム) 増田 良二
- A-5 「神奈川における視覚障害者のレクリエーションの展開(4)」
～スポーツ以外のレクリエーションについて～
(神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢ライトホーム) 末田 靖則
- A-6 「知的障害者施設におけるレクリエーションの実践」
～楽しく、豊かな生活をおくるには～
(東京都千葉福祉ホーム) 大場 伸
- A-7 「高齢障害者を対象としたグループレクリエーションの選択」
～能力に合わせたレクリエーションゲームについて～
(鶴巻温泉病院) 松本あづさ
- A-8 「高齢者レク活動の視点からみたエルダーホステル活動について」
～北米インカーネーション・キャンプの事例から～
(余暇問題研究所) 広田 治久
- A-9 「第54回NESRA年次大会にみられる職場レクリエーションの動向」
(余暇問題研究所) 浅宮佐知子
- A-10 「学外コースにおけるマリンプログラムとしてのヨット授業の実践」
(いわき明星大学) 上野 直紀
- A-11 「神戸YMCA学院専門学校社会体育学科・海洋スポーツ学科
におけるレジャー・レクリエーション実習実践報告」
(神戸YMCA学院専門学校) 小泉勇治郎
- A-12 「東京家政学院大学におけるカヌー実習について」
(東京家政学院大学) 芳賀 健治
- A-13 「オーストラリア・クイーンズランド州ヌーサでの
ホームステイ・自然活動を通してのレジャー・レクリエーション」
(貞静学園) 上村都貴絵
- A-14 「オーグスポーツ・プログラムと受講生の反応について」
～S専門学校の場合～
(スポーツ・エデュケーション・アカデミー) 下田 由香

= B 会 場 =

- B-1 「高齢化・福祉化社会の新しい生涯スポーツ（バーンゴルフ）(BAHN GOLF)」
～日本バーンゴルフ協会の設立と今後の方向性～
(淑徳短期大学) 西田 俊夫
- B-2 「市町村レク協会における生涯学習事業の可能性を探る」
～八王子市レクリエーション協会の実践紹介を通して～
(八王子市レクリエーション協会) 丸山 正
- B-3 「レクリエーションダンス教育課程構築への実践報告」
(BLUE THREE レクダンス研究会事務局) 浦江 千幸
- B-4 「レク指導者が地域スポーツにはたす役割」
～制度ボランティアの関わりから～
(船橋市自遊人協会) 杉本 晴夫
- B-5 「地域余暇情報提供の実践活動」
～ベルクソンの発行から～
(船橋市自遊人協会) 戸田 安信
- B-6 「消化不良損塾・横須賀市レクリエーション指導研究会」
～オーバーナイト・ウォーク実践活動報告～
(横須賀市レクリエーション指導研究会) 岸 正晴
- B-7 「フライング・ディスク・ゴルフによる「楽しさ」を導き出す授業の実践」
～生涯スポーツの視点から～
(順天堂大学) 宮下 桂治